ジャーナリズム論

第二回 ジャーナリズムとは何か

Respon カード番号

379 572 594

リアクションペーパー

今日の予定

ジャーナリズム論(1) 授業オリエンテーション

- ジャーナリズムとは何か・何をしなければならいと論じられてるかを理解する
- 記者・ジャーナリストが何をしなければならないことになっているか、を理解する
- ニュースとは何か、どう論じらてきたかを理解する
- 自分で定義をしてみる・クラスの人と共有してみる
- 来週の内容

ジャーナリズムとは何か

ジャーナリスト = ジャーナリズムを実践する人達

記者・ブロガー・インスタグラマー・ノンフィクションライター・ドキュメンタリー作家・ライターは？

ジャーナリズムとは何か

Respon カード番号

673 930 077

自己流定義の提示用

今日学んでほしいこと

[redacted]

考えてほしいこと

学んでほしいこと

考えてほしいこと

- ジャーナリズムとはどう定義されてきたか
- 現実はどのような問題が指摘されているのか
- ジャーナリスト・記者が何をすることになっているのか（建前として）

学んでほしいこと

考えてほしいこと

- 色々な定義を知った上で、共通項目を見つける
- 自分で定義した上で、情報や日々のニュースに接する
- クリティカルに考える能力を向上させる

それで？
(メディア学科やメディア業界をめざしている人場合)

考えてほしい理由はなにか？

- 常に自分がやろうとしていることが何かを自覚できるようになって
- ジャーナリストになるのであれば、常に自分で定義できるようにする
- メディア業界およびメディアから送られてくるメッセージ（意図、イデオロギーなど）について、自分なりの基準で批評し、理解・行動できるようになる

それで？（一般論として）

考えてほしい理由はなにか？

- 日々何気なく接しているニュース、情報番組、エンターテイメントなどについて、何気なくではなく、適度な範囲で批判的に見る態度をみにつける
- ジャーナリズムとは、送り手だけではなく、受け手である人もいて始めて成り立つ
- 受け手は個々の経験があり、その視点から常にニュースや情報に接する（逆も）

先生の定義
（または先生の判断基準）

先生の定義

- ジャーナリズム = 日々の出来事や所属する社会の中で、人々が自立して生活するのに、重要だと判断される情報を提供する活動を指す。その際、事実とデータを根拠に、コンテクストを提供するプロまたはセミプロ活動。単に事実を述べるのではなくて、一つの真実を提示するもの。そこにはニュース・時事問題・言論活動・論評などがはいる。

- ジャーナリズムで、言論・ニュース・論評は色々な背景を持った人が、プロフェッショナルに色々調べて提示できるほうが多分良いものだよね。全員が同じことを同じように情報発信したら？全く根拠のないことを言っていたら？終了。

先生の理解

- ジャーナリズム = 新聞と考える人がいる。
- それは正確ではない。テレビニュースもジャーナリズムだし、ネットニュースも真摯に時事問題に迫るものであればジャーナリズム。
- 媒体の問題はある。日本にはなぜかネット vs オールドメディア、という不思議な括り方を無意識にしているケースがある
- 可能なら、極力利害関係の少ない状況でジャーナリズムなる活動をしてほしいよね（目指している人がいるなら）

先生の定義

ジャーナリズム研究は「めんどくさい」

ジャーナリズム研究も実践することも「難しい」

ジャーナリズム論は落とし所がみえにくい。

誰もが納得する正解もない。ああいえば、こういう、人たちに沢山出会う世界。

ジャーナリズムは、色々な意見を持つ人達と折り合いを見つけ定義しないといけない。議論を呼ぶ社会問題と同じ。

配布資料での定義

THE ELEMENT OF JOURNALISM
KOVACH & ROSENSTIEL

古代でも現在と同じようにニュースが重要で、求められることとは同じだった。内容も同じだった…ゴシップ、リーダーの能力、政治能力、日々の出来事、**etc**。それも、そのニュースは興味をひくものでなければならない…

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- **Journalism's first obligation is to the truth**
- **Its first loyalty is to citizens**
- **Its essence is discipline of verification**
- **Its practitioners must maintain an independence from those they cover**
- **It must serve as monitor of power**

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- ジャーナリズムの第一の義務は真実を伝えること
- ジャーナリズムは市民に貢献するものであること
- ジャーナリズムの神髄は、情報を検証する上で必要な規律（透明性、謙虚さ、独創性）に従った行動をすること、あるいはその訓練を重ねること
- ジャーナリズムの実務者は、対象とするものからの独立性を維持しなければならない。
- 権力の監視役（monitor of power)としての役割を果たす必要がある

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- **It must provide a forum for public criticim and compromise**
- **It must strive to make the significant interesting and relevant**
- **It must present the news in a way that is comprehensive and proportional**
- **Its practioners have an obligation to esercise their personal conscience （良心、道義心、善悪の観念）**

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- 人々（Public）に批判し、批判に対して反論および合意できる場を提供するあるいは、公共的な（public)対話の場を提供すること
- 意義のあること（意味を見いだせること）を、興味深く、今日的な現実の問題に直結するものとして提示する努力をしなければならない（あるいは、そのように見せる努力をする）
- ニュースや時事問題を、わかりやすく概論を提示し、且つ、相対的（propotional)に提供しなければならない
- ジャーナリズムの実践者は、個人として、その良心を行使する義務を負う

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- **Citizens have rights and responsibilities when it comes to the news as well - even more so they become producers and editors themselves.**

The Element of Journalism

KOVACH & ROSENSTIEL

- 市民（ジャーナリスト、視聴者、読者など）は、ニュースを消費する側としての権利を有し、更にニュースに対しての責任も負う。誰もが、プロデューサーやエディターになればなおさらである

まとめると: ジャーナリズムの役割

- 「真実」を伝える
- 市民に貢献する役割を担う
- 情報を検証し、伝えること
- 権力の監視役
- 対話の場を提供すること
- 意義のあること（重要なニュース?）などを、興味深く且つ公正に伝える

現代ジャーナリズムを学ぶ人のために
大井眞二、ほか。

広い意味でのジャーナリズム…自分の身の回りだけじゃなくて、それを取り巻く世界について知るのって重要だよね、って思ったときに誕生した。で、商業的になりはじめた時、もっと重要になった。

でも研究対象となったのは後なのね。アメリカでさ、プロのジャーナリストを育てるようになってから、研究が始まったけれど…それ以前にドイツでもなんか研究の元になった研究があったのね。

新聞協会の定義

日々発生する世の中の出来事や時事的な問題を報道、解説、論評するのがジャーナリズム(Journalism)です。国内外の政治、経済、社会現象からスポーツ、科学、文化活動に至るまで、さまざまな分野の現代史を記録し続けています。

https://nie.jp/teacher/9.html (ジャーナリズムの役割)

ジャーナリズムの力

新聞協会賞受賞作から

過去の受賞作を振り返る

シェア　Tweet

2022.01.14　2021年度受賞スピーチを掲載しました。

2021.12.07　信濃毎日新聞社・松井俱矢氏（2015年度受賞）へのインタビューを掲載しました。

伝える・問う・動かす

社会の動きをいち早く伝えるため、ものごとの核心に迫るため、記者は日々、取材に駆け回っています。

あらゆる現場を踏み、さまざまな人に話を聞き、入手できる限りの資料を読み込みます。
小さな変化を見逃すまいとして、常に目を凝らしています。

歴史的瞬間を伝える一報、公的機関や企業が隠してきた事実の追及、社会の中で孤立し、苦しむ人への支援を促すキャンペーン
――日々の取材の積み重ねの中から、時に社会を揺るがし、人々の意識を変え、世の中を動かす報道が生まれます。

日本新聞協会は、こうした報道を手掛けた記者に「新聞協会賞」を贈っています。
ここで紹介するのは、新聞協会賞を受賞した記者によるリポートやスピーチなどです。
記者たちは記事に込めた思い、「ジャーナリズムの力」を語っています。

日本新聞協会

歴史的瞬間を伝える一報、公的機関や企業が隠してきた事実の追及、社会の中で孤立し、苦しむ人への支援を促すキャンペーン――日々の取材の積み重ねの中から、時に社会を揺るがし、人々の意識を変え、世の中を動かす報道が生まれます。日本新聞協会は、こうした報道を手掛けた記者に「新聞協会賞」を贈っています。ここで紹介するのは、新聞協会賞を受賞した記者によるリポートやスピーチなどです。記者たちは記事に込めた思い、「ジャーナリズムの力」を語っています。

UNESCO

UNESCO's support for journalism education is underpinned by a strong conviction that professional journalistic standards are essential to bring out the potential of media systems to foster democracy, dialogue and development.

Professional news media acts as a guardian of public interest. It is an important component of the checks and balances that form part of a democracy. By disseminating trusted information to citizens, the news media enables citizen participation in development and strengthens accountability feedback mechanisms. Citizens cannot exercise and enjoy their citizenship in the absence of crucial information and knowledge, which well-trained journalists are better placed to provide.

However, recent trends in the last few years have placed journalism under fire. A range of factors are transforming the communications landscape, raising questions about the quality, impact and credibility of journalism, making UNESCO's Excellence in Journalism Series a crucial repository for journalism education and training worldwide.

https://en.unesco.org/unesco-series-on-journalism-education

和田洋一 (独文学者/新聞学者）同志社大名誉教授 1993年没

「非男性的立場（？）」報道第一、解説第二、評論第三

ジャーナリスストの心がけ

「こういう問題が存在しています。皆さん一人ひとり、どう解決したらいいのかお考えください。わたしはわたしの考えがありますが、指導ヅラをして、偉そうな態度で申し上げることはさし控えます」

和田洋一 (独文学者/新聞学者）同志社大名誉教授 1993年没

ジャーナリスストの心がけ

「言論第一主義じゃないといけないって根拠はないんよね」

「民衆一人ひとりは…ゆっくり考える時間もない、そこで偉い人にたよる。」

「自分の頭で考えない…」それはよくない

和田洋一 (独文学者/新聞学者）同志社大名誉教授 1993年没

ジャーナリスストの心がけ

「言論第一主義じゃないといけな　はない
んよね」

「民衆一人ひとり　考える時間もない、
そこで偉い人　」

「　考えない…」

は？？何言ってる？

和田洋一 (独文学者/新聞学者）同志社大名誉教授 1993年没

ジャーナリスストの心がけ

「考える材料を提供する」

ほか参考にするといいもの

日本のジャーナリズム論者では古典

- 戸坂潤:
- 清水幾太郎
- 鶴見俊輔
-

様々なジャーナリズム

海外（国内も）で提唱されているジャーナリズムの形

- Constructive Journalism (コンストラクティブ・ジャーナリズム)
- Explanatory Journalism (時事問題をわかりやすく提示するジャーナリズム)
- Data Journalism （データに基づく情報を提示し、データの解釈や全体像を提示する試み）
- Solution Journalism（社会問題に関して、様々な解決方法を当事者と一緒に考え、持続可能な社会を目指すジャーナリズム）
- Digital Journalism (インターネットを中心に、デジタルでジャーナリズムを提供するもの、あるいは提供し合うもの)

日本でのジャーナリズム

日本のジャーナリズム

- 批判的に捉える傾向、日本にはジャーナリズムはないという人も
- 権力を監視する役割を担うとする部分が強調される
- ニュースや時事問題について、マスコミが市井の人に伝えて上げる活動
- 弱者に寄り添う活動（実際はどうか別として）
- オジサマたちが、政治について伝える活動と定義する人
- ネットとオールドメディアを分ける傾向
- ジャーナリストはジャーナリズムを実践する専門家でなんとなくすごい人(あるいは、その逆)

なぜ体験宣言？

ミッションステートメント

ジャーナリズムとは結局何？

- 日々の記録、提示、日々の出来事をどう捉えるかを提供する活動
- People/citizens (市民、市井）の人が自立した生活を営むために、世界をどう見るか考える切っ掛けを提供する活動
- Power (力のある組織、人）がきちんと責任のある行動をするようチェックする活動も含む

そこで問題となることは？

- 誰が？どういうふうに？何を？どこで？ジャーナリズム活動をするのか
- 財源は？力は？市井の人、一人だけでジャーナリズムはできるの？
- 個人が情報を共有しただけで言いたい放題するのはジャーナリズムになる？
- 組織的に編集能力を持った人達って重要？
- 権力持つのは誰？ジャーナリストって政府の人や力のある人を監視するんでしょう？で私達、市井に色々な情報を提供してくれる人達なんでしょう？偉い(?)
- ニュースなどからどうやって情報を理解したらいいの？市井の人って（無知って扱われるの？）
- 誰でも情報発信ができるよね？プロの人って必要？

ジャーナリズムではないものは？

ジャーナリストのツイートは？

専門家や大学の先生の時事解説ブログは？

国営系の海外メディアは？

ご利用メディア調査

ネット系メディアって何？

ワイドショーは

News Pickは？

ブログやNoteは？

アベプラ、報道リアリティーショーは？

ドキュメンタリー映画は？

ドキュメンタリーは？

質問や確認事項はありますか？

次回

日本のジャーナリズム論
と、ジャーナリズムの歴史

内容

日本のジャーナリズム論: 何が言われてきたか、ディスコース（言説）はどういうものだったか

ジャーナリズムの歴史: 簡単な通史と主要イベントの説明

参考資料・参考文献の抜粋は初回授業の週に可能な範囲で共有

課題 （リフレクションに反映）

ニュースとされているモノを見る。斜め読み・視聴をすること。例: なぜ、ある問題が報道されているのか、それともしていないのか考えてみる。

報道各社が何を重視しているのか検討してみる。新聞紙の場合は見出しの大きさ、映像やオンラインコンテンツであればTopにくるもの。

時事を理解できなければ背景を調べる。

今後は、復習した上で、改めて今日の授業の内容で考えたことを意識して、日々のニュースや情報を眺める（完璧に理解しなくていい。意識も高くもたなくていい）。

資料を読む。

課題 （リフレクションに反映）

日々の出来事を斜めの角度から見るの例:

新聞を読めという人と真逆の考え方をしてみる、

新聞の何がいいのか、オンラインの紙面形式じゃだめなのか。

テレビとネットのニュースを違うものとして語る大人達を眺め、その背景に何があるのか考える。

Smart Newsが本当にスマートなのか考えてみる。

なんで日本のYahooニュースの寄せ集めに、たまに良くわからない記事が交じるか考えてみる。

専門家やコメンテーターの発言を分析する。

肩書、大学ジャーナリスト、フードジャーナリストなどある人がどんな人なのか、彼らをジャーナリストと見ていいか考えてみる（〇〇+ジャーナリストと書くのは日本特有）

報道リアリティー、討論系番組やYoutubeコンテンツを見て社会や世界のことが分かったか考えてみる。(ただ極端にならない程度。行き過ぎると陰謀論とか信じ始めて頭おかしくなる）

Respon カード番号

379 572 594

リアクションペーパー